

経営比較分析表（平成30年度決算）

岐阜県下呂市 下呂市立金山病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
当然財務	病院事業	一般病院	50床以上～100床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓	救へ輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
32,576	6,954	第2種該当	10:1	

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

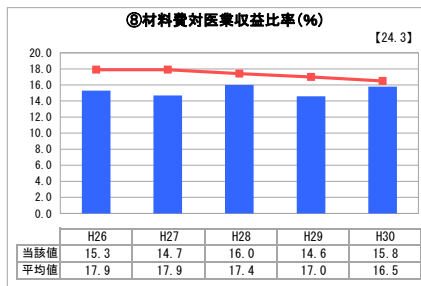
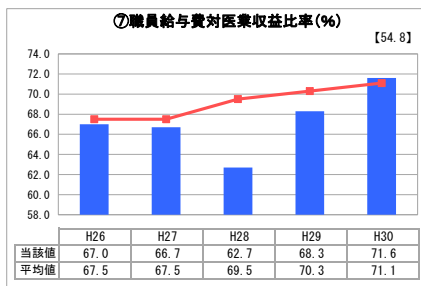
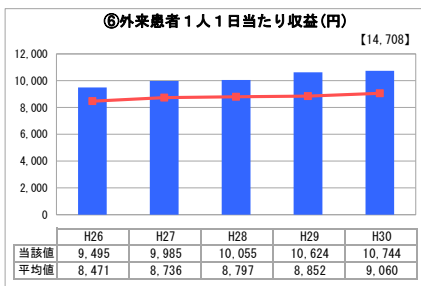
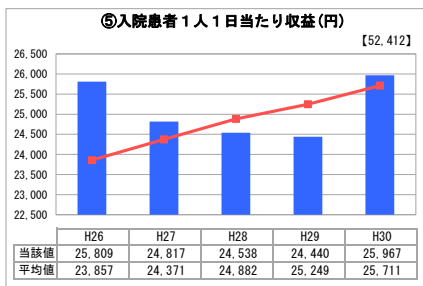
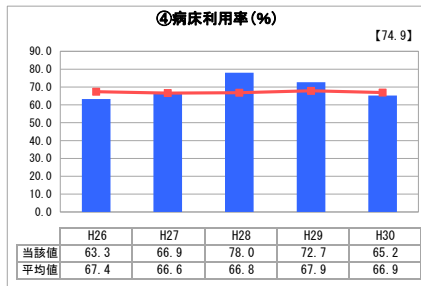
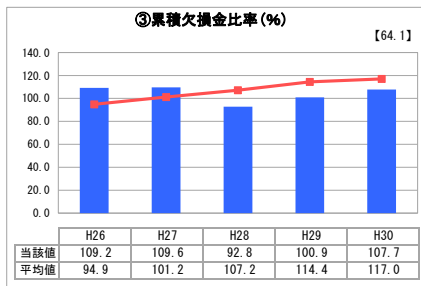
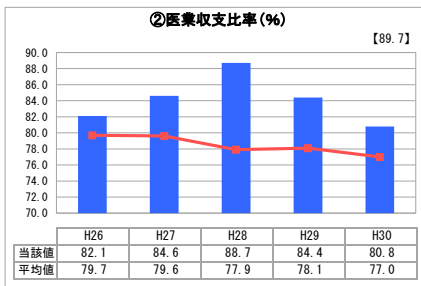
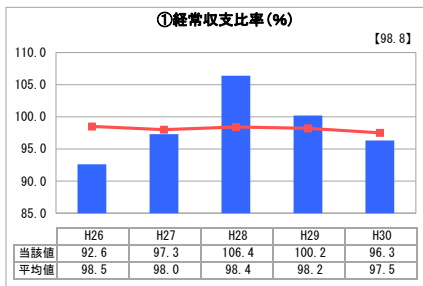
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
50	49	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	99
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般+療養）
47	33	80

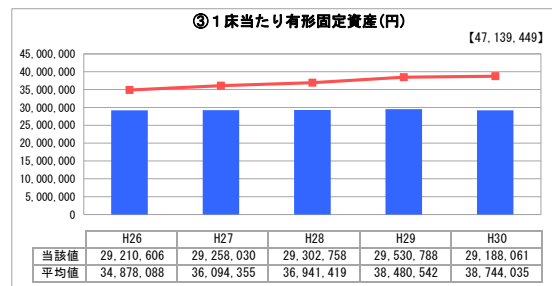
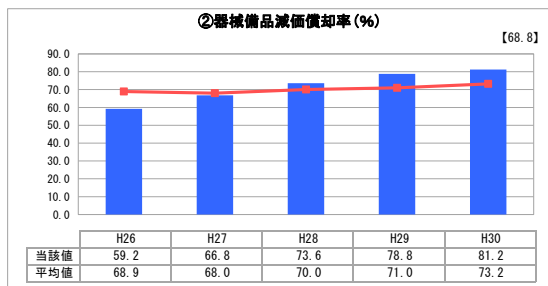
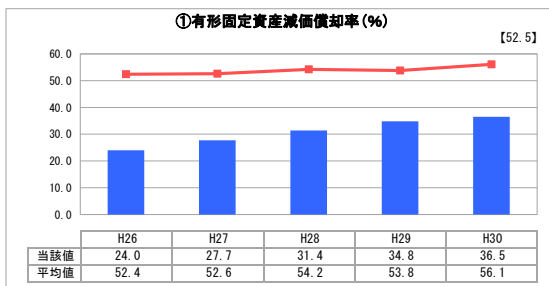
グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
- 年度	- 年度	- 年度

I 地域において担っている役割

南飛騨地域の中核病院である下呂温泉病院から30km南に位置し、この地域における医療提供体制を整え、誰もが安心・安全に暮らせる拠点として機能している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

他病院等との連携の充実を図りながら一般病床及び療養病床の病床利用率の向上を目指すと共に、一般病床内に地域包括ケア病床を8床設置して病床機能の見直しを行い、病床利用率の向上に努めた。入院患者数は前年度と比べ2,707人の減となり、入院収益も減収となった。診療報酬改定における療養病床の入院区分の引上げに伴い入院対象者が減ったこと、整形手術において岐阜大学の医師派遣が困難になったことなどが要因となっている。外来については、流行性疾患患者が少なかったことなどから患者数は259人の減となったものの収益は増額となった。

2. 老朽化の状況について

建物については平成24年に新築し6年ほど経過している。医療機器等については、旧病院から引き継いで使用していることから、経年劣化等による更新が必要となってきている。このことから、医療機器購入に当たっては、収支バランスを踏まえながら計画的な更新を行っている。なお、現有備品に対する備品台帳の見直しを行った結果、既に廃棄となっている機器があったことから減価償却率は上昇した。

全体総括

病床機能の見直しにより地域包括ケア病床を11月に8床開設し収益改善に努めた結果、入院患者1人1日当たりの収益は類似病院平均値を上回る事ができた。しかし、入院患者数の減により入院収益が減少したことに加え、費用では人件費が増えたため、経常収支比率と人件費の割合が悪化している。

今後は、病床利用率の改善による収益増を図り、また、医療機器については耐用年数を超えているものが多いことから、計画的・効率的な更新を行う。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。